

## 2023年度 第1回 学校運営協議会

1 日時 2023年（令和5年）5月15日（月） 14:00～15:40

2 場所 図書室

3 参加者

宮本 和香	学校関係者評価委員
古山 貴規	JTB
羽白 裕子	PTA会長
羽田 知世	さくらホーム
平岩 千尋 （オンライン）	学校医
上野 リサ （オンライン）	穴吹情報デザイン専門学校講師
細田 暁 （オンライン）	横浜国立大学教授
友瀧佳司之	福山市立鞆の浦学園 校長

4 内容

- ① 授業参観
- ② 任命通知書交付
- ③ 学校説明
- ④ 質疑・応答，意見交換

◆今年度の方針（校長）

- ・学校経営理念の「一人も取り残さない，一人一人がもっと輝けるように」を大切にし，取り組んでいく。
- ・研究主題～「探究」の世界にどっぷりつかるとつなげる！ひろがる！～今年度は，さらに「つなげる・ひろがる」を深めていく。
- ・多くの地域の方々に支えられている。（図書ボランティア・クラブ講師・登下校見守り隊・地域外部講師など）一緒に考えていくことで，子どもの学びが広がる。
- ・子どもの力を周りの大人が信じることが大切。

◆4月よりの気づき・交流・協議  
（校長）

- ・就任式のあいさつで，子どもたちが自然と拍手してくれた。新しく学園に転

入学した児童生徒に対しても、自然に自分達の学年に迎え入れる態度がとても印象的だった。

- 子どもや保護者からも「学校が楽しい」という声を聞いている。これまで積み重ねてきた温かさが伝わっているのだと思う。
- クルーズ船ボランティアガイドや一迎会（一年生を迎える会）などの行事も一生懸命で、とてもほほえましい。
- 「幸せの道」は校則ではなく、みんなが安心して生活できるように、自分達で考えている。各学年が、自分達の生活に合わせて考え直しているところがよい。
- （先日実施した細田先生による出前授業、「鞆の浦体操」の動画を zoom で流し、全体で共有した）

（細田）

- 防災の授業でも質問がとまらなかった。子どもが純粋に考えを出し合える仲間づくりをしている。

（校長）

- 鞆をなんとかしたいという思い、鞆に対する子ども達の愛着を感じる。
- 運動会の日程や企画は、実行委員会がプレゼンで提示した。練習のすすめ方なども自分達で考えながら実行している。ぜひ本番を見てもらいたい。
- 6年生が「鞆の浦体操」を作った。運動会をはじめ地域の施設で実演し広めようとしている。どんどん発信していきたい。

（上野）

- 学校の探究課題に新たに「つなげる！ひろがる！」が加わった。新しいステージに立っている。子ども達の心の豊かさを結果にして発信していくことが必要だ。子ども達の力を信じて発信して行ってほしい。

（平岩）

- 去年、課題発見を行ったが、「なんの為にこれが必要か」という点を考える力が育っていて頼もしい。これは大人になっても大切である。自分の意見を伝えようとする力をみんな育てていきたい。

（細田）

- 数字に出ないところ、例えば「話を聞く」「やさしい声掛け」などを大切に育ててあげてほしい。

（宮本）

- 地域、町全体に温かい雰囲気があり、その中で子どもが育っている。

（羽白）

- 児童生徒主体の運動会が楽しみだ。一人ひとりみんなが輝ける学校にしていきたい。

（羽田）

- 運動会の運営について、上級生がしきって先生がいなくてもイベント運営ができています。「鞆の浦体操」が授業の一環で考えられているところを

紹介したら、奥出雲のリハビリテーション学院の方々が感動されていた。

(校長)

- 「つなげる！ひろがる！」について、例えば運動会の校歌が卒業式などの儀式で学園に誇りを持って歌えるなど継続した取組にしたい。先日8,9年がマナー講座を行った。社会に出て役に立つ力(数字に見えないところ)を身につけさせたい。
- 韃学の自己探求(後期)では、子ども達が先生達の力量を超えていてほしいと思う。探究をやり遂げて、自信を持って卒業してほしい。その為にも引き続きサポートをお願いしたい。

(学校管理部部長・藤井)

- 各協議委員の方々の言葉はとても身にしみた。韃の浦学園は「ふくやま100NEN教育」の先導者だ。協議委員は「辛口の友人」だと言われている。子ども達に本当の力がついているか、委員の目でアドバイス頂きたい。

(校長)

- 2,3回目からもしっかり意見を頂きたい。

(古山)

- 「No Child Left Behind(子ども達を誰一人取り残さない)」という理念があるが、「先生」も取り残さないでほしい。負担になることは減らしつつ、先生方も(子ども達と一緒に)楽しく笑顔で働いてほしい。

(平岩)

- 去年やったこと(韃の浦体操など)を、今年アクションに起こしてもらった。「イイネ」で終わらず、最後までやりきるところがすごい。

(校長)

- やりきって、お披露目することの達成感が次への活力となっている。韃学にかける子どもと先生の情熱はすごい。相乗効果で学力がついていくともっとすごくなる。委員の皆さんには、先生方の悩みも聞いてあげてほしい。先生の力量もアップして、これからの教育につなげていきたい。

## ⑤ 事務連絡